

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2015年 3月号



2月1日 三郡山



2月16日 金峰山



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2015年 3月1日発行 通巻263(毎月1回発行)

2016年の、創立50周年を

無事故で迎えよう

3月号目次

・目次	2
・県連盟合同会議・全国連盟評議会報告	3
・全国連盟評議会報告	4
・2015年度委員会活動概要	5
・会・クラブ紹介 茂原道標山の会	9
・房総ロングハイクに参加して	10
・ハイキング委員会リレーエッセイ	11
・2015年度雪上訓練案内	12
・関東ブロック女性委員会餅つき交流会	13
・雪掻きボランティア報告	14
・県連便り	17
・3月・4月予定表	18

表紙紹介

茂原道標山の会は、1971年に3名でスタートした、伝統ある会です。会員が3名まで落ち込んだ時期もあったが、現在10名余の在籍がある。昨年は退会者ゼロ、全会員が山に行ける状況で新年を迎えた、そうです。退会者がゼロは、会員同士の繋がり、山仲間の思いやりを感じます。房総の山、自然保護への取り組みも積極的に取り組んで入るとの事です。

会・クラブ、県連理事合同会議 報告

千葉県連会長 広木 国昭

千葉県連盟は、総会を2年に1回実施とし、その間に、会・クラブ、県連理事の合同会議を実施しています。

合同会議を、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1、実施日 2015年2月15日（日）
- 2、会場 船橋市中央公民館
- 3、参加会 14会（欠席 4会）
参加者 36名
- 4、議題 ① 2014年度活動報告
② 2015年度活動方針
③ 2014年度決算報告・2015年度予算案
④ 創立50周年記念事業について
⑤ NPO法人「ちば労山ゆう」活動報告
- 5、特別講演会
・新特別基金の改正点について
・基金の疑問点について、Q&A

全国連盟・第31期第1回評議会報告

全国連盟評議会が、2月21日（土）22日（日）に晴海グランドホテルで開催され、千葉県連盟からは、斉藤 県連理事（ちば山の会）が評議員として参加しました。

今回の評議会の焦点は

1、「ROUSAN」パートナーズの現状と今後について。

第30回総会で可決されてスタートしたが、現会員数は14都道府県から158名で予定数には全く及ばない。評議員からは、この現状に財政問題も含めて、強い批判があった。批判の内容、発言者は、毎度お馴染みで制度提案時と全く変わっていない。

全国連盟・理事会は、スタート以来の活動を総括し、低迷している現状を打開して全国の仲間と共に活動出来る、新しい方針を確立すべきである。

2、労山組織基本問題調査会最終答申について。

2013年2月の第30期臨時総会に提案され、2014年2月の第31回総会で中間報告が実施された、6項目について最終答申がなされた。千葉県連盟としても検討の必要を感じた。理事会で取り組んで行きたい。

3、組織強化、会員拡大の具体的な取り組み、方針等に対する討議・報告が十分とは言えなかった。個人会員制度への批判の繰り返しに比べ、会員が減少している会・クラブ・県連盟の具体的な取り組みに等の報告が少なかったように感じた。

☆ 詳細は、4ページ、7ページに掲載

日本勤労者山岳連盟 31期 評議会に参加して

齊藤 一郎(県連理事・ちば山の会)

2月21(土)、22日(日)の両日に渡り、まだ春には遠い東京都晴海で、全国連盟役員30名、評議委員55人がこの会の為に集まった。勤労者山岳連盟に帰属し、山仲間が日本各県にいと実感出来るのは飛び交う言葉の彩が豊かなことに因るのだろう。全国でのイベントでの出会い又は長年役員を継続されこの集まりが顔を合わせる機会になっていることは確かで、古い山仲間同士の会話が方々で聞こえているのは何とも嬉しい。こちらとしては入会まだ3年が経とうとする新参なので少々身の置き場が無く気が張っている。『千葉』と書かれている席に身を置いてはみたが当県の代表と見られていると思ったら更に気は高ぶるのである。さて、世間話をしに皆が集った訳ではないので議案と今評議会に上がった課題を簡単に紹介してみます。

議案	31期上、下期活動総括と方針	組織基本問題調査会報告
	財政活動の報告、監査と今後の提案	役員交代と補充

今評議会の目的と課題

31回総会決議の活動報告と計画 「組織基本問題調査会」の報告活動
重大事故を防ぐ為の対策と活動の推進
山岳自然保護と他団体との共同活動について
青少年層や新たな登山愛好者層への働きかけ

上記のように2日間では時間が足りない位に報告と答申が熱く会場内を動かし、昇せて仕舞いそうな論議に時間を忘れてしまう感覚までこちらに伝わってきました。その中でも特出されるのは「ROUSAN パートナーズ」の停滞と「登山時報」の今後のあり方であったと感じます。前者はスタートから三年経とうとする間、同系他社の著しい進出に対し地方会員の伸び悩みと配慮、今後の会員を増やす対策が中央(関東ブロック)と他県の温度差著しく、問題点を投げかけられたことには非会員にこれを自分が勧めていただけに動揺を覚えました。又、登山時報の読者が年を追うごとに減少傾向にあるとの報告に『本を読む』と言うことが今現在の日本から衰退し、違う媒体への変革期が身近な物から変わってゆくことを実感させられたようです。他県では登山時報を情報の拠り所としている会もあるように聞き、この冊子の重要性は地方他県にはなくしてはならないツールであると実感させられてしまったことを思わずにはられません。そして一律に全国の大きな問題が各会員の高齢化は深刻なことであったと感じました。今後、これらの問題を自分が勤労者山岳会員であることでどう向き合っているのか、宿題を渡された様に思い帰葉しました。

2015年度 委員会活動（概要）紹介

会・クラブ代表者、県連理事合同会議で確認された、2015年度各委員会の活動方針を紹介します。千葉県連は活動の全てが、委員会体制で実施されています。

◆ 事務局・活動方針

何をおいても事務局体制を確立する事が、県連盟活動の最優先課題です。従来の事務局活動を大幅に見直し、協力者に合わせたスタイルに変更する事も重要です。一例として、時間帯や内容等を検討し個人・グループでの参加・協力の選択等も視野に置いて検討進めたい。

1、事務局活動の見直しについて

- ① 役員会・理事会・委員会活動は、事務局に頼らずに自力で解決し実施する。
 - ・それぞれの会議資料等は、各自用意する。
 - ・ホームページ・ちばニュースへの投稿は、投稿者がルールを守り投稿する。
- ② 会・クラブに関する事は、事務局に頼らないで実施する。
 - ・各種連絡・提出物などは、期限・内容等を正確に実施し、事務局に頼らない。
 - ・労山カレンダーの購入は、申し込み期限・支払い等のルールを守る。
 - ・新特別基金に関する事は、各会で実施し事務局に頼らない。
- ③ ホームページの運用はホームページ部、ちばニュースの発行は機関誌委員会で実施する。事務局は参加しない。

2、県連事務所が県連盟活動の拠点になるような事務所運用を行う。

- ① 資料・事務用品の整備・整理が出来ていない。
県連盟のセンターとして、各会・クラブの活動に使用しやすい事務所にする。

◆ 教育遭難委員会・活動方針

・雪上技術講習

趣旨：県連各会の初級・中級者を対象に、雪山に必要な技術講習を実施する。

日時・場所：2015年4月4日（土）8:00～ 谷川岳マチガ沢出合

主管：県連救助隊

・初級登山実技講習

趣旨：近年、各会で急増している初心・初級者を対象として、安心・安全登山を目的とし、基礎技術の取得講習を行う。

主催：遭対委員会

日時：2015年6月6日（土）7日（日）

山域：関東近辺山域（三ッ峠山 乾徳山 鹿沼 等）

・事故防止経験交流集会

趣旨：各会での事故発生状況を踏まえ、再発防止に向けた取り組みの報告と他会への教訓とする事を目的とする。

日時：2015年11月28日（土）28日（日）

場所：船橋県民の森：さざんかの家

◆ ハイキング委員会・活動方針

- ① 第31回房総ロングハイキング 2015年1月24日（土）、25日（日）予定
- ② 第19回ウィーク・ディ山行 県連50周年にちなんだ山行を考える。
故吉尾 弘氏 慰霊山行を検討
- ③ ちばニュース掲載のエッセーは引き続き行う。

- ④ 50周年記念行事には極力、協力、参加する。

◆ 自然保護委員会 活動方針

1、自然保護委員会の充実

- ・ 委員会への結集が重要。各会で必ず担当者を決め、名簿を作成する。メールや携帯メールでの連絡を取る。
- ・ 遠くて毎回の参加が困難でも、年に数回は参加し、少なくとも年1回は出席する体制を作る。

2、千葉県連創立50周年事業として、自然保護シンポジウムを実施する。

- ・ 日時：2015年11月14日 13:30~17:00
- ・ 場所：千葉市文化センター 5F
- ・ 主題：「千葉県連盟の、自然保護の歴史」
千葉県連盟が自然保護にはたした成果と今後について
講師 鵜沢喜久雄氏（ふわくハイキングサークル代表
・元千葉県連盟自然保護委員長）

3、クリーンハイク

- ・ 2015年度 県連統一クリーンハイク 5月31日(日)9:30~
千葉県連50周年記念事業のひとつとして、自然保護に取り組んだ
追原ダムや鬼泪山の現状視察とクリーンハイクを実施する。
- ・ 県連主催・統一クリーンハイクに参加してください。
- ・ 会独自で取り組むのが困難な会は、県連統一に参加するよう努力して下さい。

4、ちばニュースのレイエッセイへの投稿の継続。

◆ 組織委員会・活動方針

- ・ 各会・クラブの現状にあった、組織活動の調査・実施。
会員の高齢化、会員の減少、会運営などに、当該の会・クラブと共に取り組む。
- ・ 組織委員会に、会・クラブよりの参加・協力をお願いし、10名以上の委員会とする。
- ・ 創立50周年事業への、積極的な参加。

◆ 2015年度・活動方針

現在、女性委員会は、8名で活動しています。

他の委員会に比べ、8名の参加は多いと思います。しかし、多くの女性会員が直面している「何時までも山行を続けたい」との思いに応える活動を実施するには10名以上の委員が不可欠です。

現在、女性委員を選出してない会・クラブからの参加をお願いします。

- ・ 具体的な行事・活動目標

1、第9回ワンコイン講習会の実施（6月・11月 実施予定）

講習会の内容を検討し、参加して良かったと実感できる内容にする。

2、ケガなどの、応急処置の講習の実施。

軽登山・ハイキング時の、アクシデントへの対応・初期処置についての講習会の実施。まず、女性委員が初期処置を身につける。

3、全国連盟・関東ブロックの女性委員会行事への参加。

各種集会・行事・講習会に積極的に参加し、他県連の仲間との交流を通して情報交換・学習を行う。

◆ 機関誌委員会・活動方針

機関誌委員会の最大の問題点は、委員会としての機能が確立していない事である。

各会・クラブ・県連理事の参加・協力をいただき、現状の克服が最重点事項です。

1、 機関紙委員会の確立

- ① 県連理事から、機関紙委員会担当理事に2・3名の参加が必要です。
- ② 各会・クラブから、機関紙委員会への参加の検討をお願いします。
- ③ ちばニュースの発行作業を分業化して、ワンポイントの協力をお願いします。
投稿原稿 の校正から、PDFの作成作業、発信・送付 の分業等。

2、ちばニュースの内容の検討

- ① 各会・クラブや会員の要求や意見を反映した誌面になっているか。
- ② 各会・クラブの山行や行事案内・報告の掲載。
- ③ 県連盟・全国連盟の行事や講習会の案内の掲載。

2016年 1月 岳人あびこ 2月 ふわくハイキングサークル

3月 市川山の会 4月 まつど山翠会 5月 シリウス☆山の会

6月 まつど遠足クラブ1年さくら組 7月 あじさい山の会

4、ちばニュースは読まれているか？

- ① 会員に読んでもらえる内容か？読まれる内容とは？
- ② 印刷での配布から、PDFでの配信に切り替えてから、どれ位読まれているか？
メール配信で、印刷して読むか、PC画面で読むかなど、検討が必要である。

5、各会・クラブの会報・機関紙の現状はどうか。

- ① 会報・機関紙担当者の情報交換・交流会の実施。
- ② 少人数の会・クラブでの、会報・機関紙の発行状況について検討を進める。

6、全国連盟機関誌「登山時報」に対する意見・要望をまとめ、登山時報の財政問題・改正も視野にいたした検討を進める。

- ① 登山時報の購読数の拡大に協力をお願いします。

まず、購読数“0”の会を無くす

- ② 購読申し込み先:全国連盟事務局に、直接申し込んで下さい。

購読、その他の問い合わせ等は:千葉県連 広木まで(danphiro@zpost.plala.or.jp)

◆ 千葉県連盟・ホームページ部会の現状報告

労山の組織活動で、ホームページの果たす役割の重要性は数多く報告されています。千葉県連盟においても、ホームページを運用している会・クラブは、入会者も多く、会活動も活発になっています。

2014年度に、県連ホームページの管理者が変わり大きくリニューアルしました。今回のリニューアルでは、山の会「岳樺クラブ」の会員の方に協力をいただいています。主なリニューアルを紹介します。

- ・ 「フォトギャラリー」: 山行のスナップ・風景写真等を投稿していただき、山の会らしい「ホームページ」を目指します。
- ・ 「山と楽しむ」: 山+1 山行帰りの温泉、必ず寄るこだわりの美味しい物等の紹介、とっておきの山・コースなどの紹介にもこだわって行きます。

☆ ホームページ担当者の情報交換会、運営を検討している各会・クラブへの援助も検討して行きたい。

会・クラブ運営、組織強化の取り組みに、ホームページの活用を検討してください。

◆ 千葉県連盟創立50周年記念事業の概要について

2014年3月2日の総会で、千葉県勤労者山岳連盟・創立50周年事業の実施を決議

し、第1回実行委員会（6月1日）を実施しました。

第3回実行委員会（1月22日）までに、記念事業の概要が確認されました。
各会・クラブの参加・協力をお願いします。

◆ 記念事業の行程・進捗の確認

1、記念山行について（担当・安彦 副実行委員長：東葛山の会）

① 海外ハイキングについて（バリ島サンライズ・トレッキング）

- ・目的地：バリ島（バトゥール山：1,717m・アグン山：3,031m）
- ・募集人員：30名
- ・費用（予算）：上限20万（飛行機往復・宿泊費・現地移動費・ガイド料）

② 千葉の山トップ50：50周年にちなんで

- ・全会・クラブの参加で実施
- ・日程：2015年9月～2016年8月
- ・登山報告を、ガイドブック的にまとめてはどうか？

2、千葉県連の自然保護の取り組みについて

① 自然保護セミナーの実施（自然保護委員会を中心に）

- ・千葉県連の自然保護運動のまとめと学習として実施する。
- ・実施日：2015年11月14日
- ・会場：千葉文化センター（千葉市中央区・JR千葉駅より徒歩5分）
- ・収容人数：150名
- ・講師：鶴沢 喜久雄氏（ふわくHC代表）

② 千葉県の自然の現状視察と、自然保護活動について

3、房総の山・沢についての紹介

- ・各会・クラブで取り組んでいる、房総の山、沢、などの資料提供をお願いします
ガイドブック的にまとめる

4、吉尾 弘氏の慰霊山行（谷川岳・一の倉沢）

- ・ハイキング委員会を中心に、船橋勤労者山の会の協力で、ウィーク・デイ
山行として取り組む

5、50周年を祝う、記念イベントの実施

- ・2016年10月 県内のキャンプ施設で、記念事業の締めくくりとして
全会参加で交流会を実施する

6、記念誌「50年のあゆみ」（仮題）の発行

- ・千葉県連盟の活動を、後世に伝える資料としてまとめる
- ・具体的内容として、県連盟の歴史、加盟会の紹介、会員数の推移、千葉県連盟の特徴的な取り組みのまとめなど
- ・50周年記念事業の紹介、参加報告など

◆ 救助隊・活動方針

- ・ コンパニオンレスキューと登山技術向上の実践的訓練
7点セットの利用法、初動対処(応急処置・救助要請等)法、懸垂下降Std.反復訓練
- ・ 自己啓発による技術習得
机上訓練、屋内訓練及び、近隣ゲレンデ及び沢登り・雪山での訓練
- ・ 第三次搜索の知識習得と実践的訓練の実施第一次～三次までの流れと事務手続き、
活動プロセスの研究、搜索活動

茂原道標山の会 紹介

会長 戸塚民男

会は、茂原市にあった日立製作所で働き山に情熱を燃やす3人が集まり1971年4月25日発足した。70、80年代は常に若者ら30数名が在席する隆盛期、90年代初頭は中堅会員が激減して中年化、後半は中高年層が入会して二山化した。2000年初はそれまでの会員の多くが退会し、その後新たな入会員で一時賑わったがとどまらず一桁の会員数となり、後半は4名まで減少し停滞した。10年代に入って若い時登山経験が有る定年退職者らが入会して、現在会員の13/16名と中心となり活躍している

特徴・アピールポイント

- ・全員が会山行に参加し易いように、山岳部・ハイキング部とも各年間山行計画を立て毎月実施。
- ・会山行は、希望すれば誰でも参加出来る。

最近の山行

- ・1月18、19日 芦ノ湖外輪山縦走（5人、テント泊、山岳部）
- ・1月24日 伊豆ヶ岳（6人、ハイキング部）、
- ・1月31、2月1日 清和県民の森で新年会と三郡山（10人、バンガロー泊）
- ・2月15、16日 金峰山（6人、避難小屋泊、山岳部）

運営で特に力を入れていること。

- ・安全山行のため、全員参加出来る岩トレ春～秋毎月実施。
- ・安全山行のため、山岳部は常にテント携帯。
- ・山行は、準備体操・ゆっくり入る・1回/30分の休憩・2L/日の水分補給・遅い人に合わせる・別れない・整理体操を慣行。

会員の現況

- ・男女構成は、男8名、女8名、計16名。
- ・年齢構成は、70代が3人、60代が11人、50代が2人。
- ・入会年次構成は、72年1名、03年2名、10年1名、12年6名、13年5名、14年1名。

去年は退会者ゼロ、又、全会員が山に行ける状況で新年を迎えました。今年も全員が少しチャレンジして頑張ります。会歴が少ない会員が中心ですが宜しく願い申しあげます。



2015年1月19日 芦ノ湖神山



1月24日 伊豆ヶ岳

房総ロングハイクに参加して

中山 政子（かがりび山の会）

山（ハイキング）と温泉をセットにして楽しむことがよくありますが、温泉と手付かづの原生林を歩けたというのが、今回の一番の魅力でした。（東大演習林の中に入れるからなのです）モミやカシの巨木が、岩を樹幹と見間違える程の太くて長い根で囲み、そこから枝分かれた無数の根が網の目のように張って体を支え、わずかな養分や水分を得なければならない自然の厳しさに耐えて生きている生のたくましさに圧倒されました。最初のピーク、石尊山は大山の阿夫利神社と関係があるということです。普段はあまりしないのに、ハイキングの無事を祈り手を合わせました。この時遠くの山並から日の出となり願いが叶うように思われました。今年の雪と暴風雨で片側斜面の細い道が、倒木と崩壊で塞がれ、注意を要する箇所が随所にありコースを通して緊張の連続でした。“大崩”と書いて“おくずれ”と読む地名もある様に、房総半島は新しい軟らかい地層の泥岩で、崩れやすく崩れれば泥（粘土）になり、登山の技術を磨く以外ないのだと思いました。土地の名前は自然災害が起こるたびに問題になりますが、この地名もその一つでしょう！！ハイキング、県連の山の会の方々との交流、温泉、炭火焼等、多彩で楽しい2日間でした。委員長さん、実行委員の方々、どうもありがとうございました。

以 上

第8回ワンコイン講習会報告

女性委員会主催のワンコイン講習会が、2月1日（日）52名が参加して実施しました。講師は、毎度おなじみの「荒井先生」です。

県連事故報告では「バランスを崩した」「チョット滑った」等で、ねんざ・手首の骨折が報告されています。バランス感覚は、加齢の影響が顕著に表れます。日頃のトレーニングで、筋力の衰えをカバーして下さい。



女性委員会では、荒井先生を招いて「正しく学ぶ」、「楽しく学ぶ」をテーマに、委員会の前半1時間で「ミニワンコイン講習会」を実施しています。気楽に参加して下さい。

各会・クラブで、講習会を計画して下さい。荒井先生も相談に乗ってくれます。

房総ロングハイキングをふり返る

ふわくハイキングサークル 中原 紀代治

私がロングハイクに参加したのは、1997年16回のコースだったと思う、この時のコースは、内浦山県民の森で宿泊：鴨川の上神社⇒高鶴山⇒西部落⇒峰岡林道⇒愛宕山⇒峰岡苑（昼食、茂原道標山の会・とん汁）⇒伊予ヶ岳⇒富山⇒富山中学校ゴールでした。岡本実行委員長夫妻の、ゴールのチェックで水仙の花束を頂いた思い出があります。

*2003年（20回）から岡本さんが病気で、中原が実行委員長に選ばれました。この時は、すでに清澄コースに変更され下見が終わっていました。東大演習林のサポート車乗り入れ許可書の申請やコースの再度の下見など苦労したのを覚えている。コースは、七里川温泉から石尊山⇒麻綿原高原⇒一杯水林道⇒清澄寺⇒郷台林道⇒元清澄山入り口⇒三逢⇒地蔵峠⇒三石山⇒三石観音寺ゴールでした。一杯水林道の分岐で道迷い者が出て、最初からヒヤリハットの驚きがありました。21回は、同上のコース、雪が10cm積っている日で、しかも、最高の116名参加者が完歩した、これもびっくりでした。

*2006年のコース（23回～24回） 12月2日～3日 紅葉ロングハイク
七里川温泉～長崎十字路（バス）⇒折木沢橋⇒黒滝⇒猪ノ川林道⇒柚子ノ木歩道⇒地蔵峠⇒三石歩道⇒三石観音寺ゴール（演習林の紅葉一般公開に合わせた）

*2007年～2009年のコース（25回～27回）郷台林道ゲートの通行許可下りた。
七里川温泉から石尊山⇒麻面原高原⇒一杯水林道⇒清澄寺⇒郷台林道⇒元清澄山入り口⇒郷台のゲート⇒郷台畑作業所⇒猪ノ川林道⇒黒滝⇒折木沢橋⇒長崎十字路ゴール。

*2010年のコース 雨天の為にコース変更、七里川温泉⇒筒森もみじ谷⇒小倉野⇒石尊山⇒七里川温泉（素晴らしい紅葉、暖かくなりヤマビルも出た）

*2011年のコース 12月4～5日 七里川温泉⇒オートキャンプ場⇒民地山道⇒大樫から⇒追原大モミジ（往復）⇒大樫歩道⇒四朗治歩道⇒四朗治大モミ観察⇒橋の沢林道⇒郷台林道⇒郷台作業所⇒猪ノ川林道⇒黒滝⇒折木沢橋⇒長崎十字路ゴール。

*2013年からのコース、本格的な千葉演習林の向峰歩道の入山許可がでた。

七里川温泉から石尊山⇒麻面原高原⇒一杯水林道W0から⇒向峰歩道W33⇒樟林歩道⇒本沢林道⇒坂本ゴール（モミ、ツガが凄いコース、岩の上の連なるモミの木）

*今年のコースは、モミ、ツガ、最後のマテバシイの巨木が凄いコース。

七里川温泉から石尊山⇒麻面原高原⇒一杯水林道W0から⇒向峰歩道W33 通過⇒向峰歩道W45⇒鶏毛山分岐⇒遠ヶ谷台⇒小坪沢W54⇒本沢林道T4⇒坂本ゴールでした。

☆ロングハイクを通じて多くの方々と交流が出来ました。ハイキング委員長の桑原さんの頑張り、千葉演習林の担当者の計らいで歩道の整備までして頂ける様になりました。

12年前と同じ多くの参加者が少し年をかさねて歩行速度は、ゆっくりと成っていますが、事故の無いロングハイキングを続ける為に後進に若い人が引続いてくれることを願います。

まだ！ 間に合います、早めの申し込みを

2015 雪上技術講習の案内

千葉県連教育遭難対策委員会

今年度も引き続き、残雪期の事故防止を目的とし、主に単独では取り組みが難しい会を念頭に置いて、県連救助隊を中心として協力頂き、雪上技術講習を下記の通り開催します。各会よりの積極的な参加を望みます。



日時：4/4（土）現地集合7：30 開始8：00～13：00

実施内容：雪上技術訓練 初級及び中級

一般的な冬山登山でのロープワーク含む。

主管：県連救助隊 講師／県連救助隊他

<追> 4/5（日）は自由行動

場所：谷川岳・マチガ沢出合い付近 現地集合

交通／宿泊：各会毎に。 宿泊は 土合駅 マチガ沢出合付近又は土合山の家
(tel 0278-72-5522) 等。尚、ロープウェイ駅待合室は宿泊不可。

参加会の事前打ち合せ：3/26（木）19：00～県連事務所

持参装備：雪山装備一式

各会毎：ロープ1（9*45 8*30等）

申込み・問合せ：3/15（日）までに、遭対委員会岡田へ。

e-mail：ken-ichi@f4.dion.ne.jp 又はfax：043-271-4704。

♥ 関東ブロック女性委員会交流山行

第2弾 景信山(高尾)もちつき&なべ

2015/3/15(日)



関東ブロック女性委員会「もちつきハイク」を今年もやります。

早春の一日、関東ブロックの女性たちの交流を深めていきましょう。ふるってご参加を。

+++++

■スケジュール 集合 JR高尾駅北口 午前9時

(往路) 高尾駅北口(タクシー)→景信山登山口→(1時間)景信山

*コースを自由にとって現地集合でもかまいません。景信山山頂 11時～11時30分

(復路) 現地 14時解散。下山コースは自由にとってください。

■会費 1,000円 (お餅各種とおなべ)

■持ち物 食器、はし、水500cc以上(自身の飲み水の他)。ハイキングの装備。

■締切 3月7日

+++++

◆ 千葉県連盟の問い合わせ : 千葉県連盟 広木 国昭 (danphiro@zpost.plala.or.jp)

千葉県連盟は、自由参加とします。各会・クラブでさそいあって参加して下さい。

東北山形、雪掻きボランティアの報告

ちば山の会 長池康雄

山形県戸沢村という過疎化が進みつつある村に、ある熱意に満ちた篤志の方の招請を受けて雪掻きボランティアに行ってきた。

ここは全国でも有数の雪深い山間の集落で「限界集落」の用語を当てはめても不自然ではない。山里を奥に向かうにつれて、雪の重みに潰されそうな無人の、かつての農家が点々と残る風景がある。ここに何とか新しい風を吹き込み、活性化を模索し真摯な活動を展開する方がいる。

この方とのきっかけは東北牡鹿半島での支援活動の現場であった。

- 1、日時 2015.2.7(土)～9(月)前夜発2泊3日
- 2、場所 山形県最上郡戸沢村
- 3、参加者 かがりび山の会:CL山本、平井、本多、木村、横田
ちば山の会:鶴田、長池

4、報告

山形自動車道を出て北上し新庄市から最上川に沿って戸沢村に入る。ナビを追った山越えの道で前輪駆動車が登れなくなり、大迂回して戸沢村の「農家民宿ほたる」に着く。遅れを心配して起きていてくれたご主人が胸を撫で下ろす。

初日は村落の様子をうかがいながら小高い雪山の鎮守さまに昇る。籐製のカンジキを履いて雪の坂を登っていくと大杉に守られ、雪に埋もれた赤い社に着く。

ここは明日の雪掻きの現場である。

さて、スコップを積んでワゴン車に乗る。最初の雪掻きは民家の軒を圧する雪山の除去だ。積雪を放っておくと、融けて凍りながら庇を巻き込んで垂下し軒を破壊するそうだ。陽射しが暖かく汗が額を滑り落ちる。コンクリート側壁まで雪を除くと、これで除雪効果は十分だとのこと。翌日は公民館の家周りの除雪、それと屋の棟近くまで雪に埋もれた神社の除雪である。張り出し屋根の先端が雪に隠れているので、迂闊に雪を落してしまうと雪とともに庇下の空間に堕ち込んでしまう。その庇下に休んでいた兎が驚いて飛び出していった。

ここは重労働だった。大量の雪を崖下に放り出す。軒上の雪を切ると急勾配の屋根からどっと雪の塊が落ちてくる。この光景に子供の頃のように気持が弾む。

○報道陣来る。

この神社の除雪には大挙(?)して報道陣が訪れた。山形新聞のカメラと記者である。スコップを振る、雪を放る、パフォーマンスは派手になる。CLは若々しい記者のインタビューに「NPO法人ちば労山ゆう」の紹介に力がこもる。

○宿：「農家民宿ほたる」

気のおけない夫婦が経営する、ほかほかとした素朴な民宿である。人の良いご高齢のおばあさんもおり、心の籠った当地料理がテーブル一杯に広がる。素材は、ほとんど奥さんが地元で栽培・採取したものである。私には煮締めた大根が舌が抜けるほど美味しかった。隣のテーブルからも掻き集めて食べきった。

○かまくら

宿の脇に小山になった雪溜まりがあり、ここに“かまくら”を掘った。ご主人が通路の脇の雪壁に灯り窓を掘り並べる。かまくらと灯り窓の列に蠟燭を立て火を灯すと暗夜に幻想の世界が広がった。老若(?)男女、まるで子供に帰ってはしゃぐ。思いがけない雪の山里の贈り物だ。

こうして2泊3日の雪掻きボランティアは終わった。この村にとっては初の企画である。その他にも、婚活など村の生き返りを模索する厳しい活動が続く。夏には、花やほたる、緑の森林、大樹の森、最上川の船下り、山形の芋煮、質素ではあるが豊かな土の香りがある。肘折温泉も近い。みなさんも是非と、お勧めしたい。

山形新聞に掲載された記事





雪掻き作業の現場



雪掻き作業の様子



掘り上げた「かまくら」のなかで



地域の活性化に力を注ぐH氏とご主人

「限界集落」とは:65歳以上の住民が50%を越え、さまざまな共同生活の維持が困難になっている集落(1991年高知大学:大野人文学部教授提唱の概念)

以上

NPO法人「ちば労山ゆう」よりのお知らせ

- 3月14日(土)・15日(日)より、支援作業を開始します。
寒さも緩んで、こぶし咲く「北国の春」を感じながらの支援作業。
昨年、植えた水仙は花を咲かせただろうか?
- 4月21日(火)「ちば労山ゆう」2015年度総会を実施します。
19時より、船橋市西部公民館(JR東中山駅下車徒歩7分)
3年を経過した活動を総括し、4年目の活動を確認しましょう。
会員の皆様の出席をお願いします。

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 千葉労山事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
(県連事務所に常駐者はいません)

- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ
事務局への問い合わせまで
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
機関紙委員会・広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号：ゆうちょ銀行
00240-8-98419
加入者名：NPO法人 ちば労山ゆう
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、
ご意見・問い合わせなどは・広木まで

NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」とは、東日本大震災を支援するために、千葉県勤労者山岳連盟を母体として活動を始めた、被災者支援NPO法人です。
- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は千葉県連盟ホームページから常時入会出来ます。
 - ・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
 - ・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>

 - ◎ 支援活動について
 - ・3月14・15日です。
 - ・4月18・19日です。

 - ◎ 支援物資販売活動について
皆様のご協力により、交通費の補助に役立っています。
引き続きご協力をお願いします。
三陸・気仙沼直送の支援物資は「おさしみわかめ」「さしみこんぶ」「くきわかめ」「すき昆布」「とろろこんぶ」
牡鹿半島の「塩蔵わかめ」
常時在庫あります。
**支援物資に関する問い合わせは
下記アドレスに連絡を！**
宅配も、相談下さい。
広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp

県連活動予定表

3月	行事予定	4月	行事予定
1 日		1 水	
2 月		2 木	
3 火	役員会	3 金	
4 水		4 土	
5 木		5 日	
6 金		6 月	女性委員会
7 土		7 火	役員会
8 日		8 水	
9 月	女性委員会	9 木	
10 火		10 金	
11 水		11 土	
12 木	50周年実行委員会	12 日	
13 金		13 月	
14 土	NPO 支援活動	14 火	
15 日	〃	15 水	
16 月		16 木	理事会
17 火	ハイキング委員会	17 金	
18 水		18 土	NPO 支援活動
19 木	理事会	19 日	〃
20 金		20 月	
21 土		21 火	NPO 総会
22 日		22 水	
23 月		23 木	組織委員会
24 火		24 金	
25 水		25 土	
26 木	遭対・雪訓打ち合わせ	26 日	
27 金		27 月	
28 土		28 火	
29 日		29 水	
30 月		30 木	
31 火	NPO 理事会		

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190 (事務所に常駐者はいません)

発行責任者：吉田 哲治 編集責任者：広木 国昭

問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ